

### 3. SWOT分析から導き出した戦略的拠点像の方向性

SWOT分析の結果、7つの「戦略的拠点像の方向性」を導き出した。各「戦略的拠点像の方向性」を導き出した理由等は次のとおりである。

なお、表にある①積極的攻勢、②選択と集中、③改善による差別化、④逆転的発想とは、SWOT分析から戦略を考察する際の分類である。

#### ＜積極的攻勢＞

##### ○ アジアとの交流拠点となる

アジアとの良好なアクセス、文化施設、ショッピング、おいしさ、自然などがコンパクトに揃い総合的に楽しめる都市圏の良さを活かし、アジアをはじめとする世界の交流拠点となる。

また、都市と農村が身近に接し、都市機能と豊かな自然の両方を享受できるという利点を充実させ、今後のアジアの諸都市のあり方のモデルとなる。

抽出される要素（「強み（◆印）」 + 「機会（□印）」）

- ◆ 都市機能が適度に分散され住みやすい
- ◆ 自然、文化、芸能、ショッピングが適度に存在し、食べ物がおいしい
- ◆ 高度な医療技術や温泉がある
- ◆ アジアからのアクセス（航空路・航路の充実）
- ◆ アジアからの観光客が多い
- 情報通信技術の普及
- アジアの少子高齢化
- ライフスタイルの変化・QOLの重視

##### ○ 環境問題の先進的取り組みで貢献する

アジアでは、急速な経済発展により環境問題が深刻化している。

深刻な産業公害を克服した都市圏の経験と、それによって培われた環境・リサイクルの技術やノウハウを活かし、アジアにおける環境問題の解決に貢献する拠点となる。

- ◆ 高い環境技術と環境対策（環境モデル都市）
- 環境意識の高まり

##### ○ 新しい芸術・文化を創造する

古来から、アジア文化のわが国への窓口であったという歴史や、近年において、アジアにおいて若者を中心にマンガ、映画、音楽、食べ物など感性や価値観を共有する文化が広がっていることを捉え、多様な文化が融合する新しい芸術文化の創造拠点となる。

抽出される要素（「強み（◆印）」 + 「機会（□印）」）

- ◆ アジアユースカルチャーセンターの取組
- ◆ 国内有数のゲーム開発会社が複数存在
- ◆ 国際コンベンションの開催が多い
- ◆ アジア文化研究の九州国立博物館がある
- ◆ 古来からわが国へのアジア文化の窓口
- アジア若者共通文化（ポップカルチャー）の流行

#### 〈選択と集中〉

##### ○ イノベーションを誘発する

自動車・半導体をはじめとする産業技術の集積を活かし、大学などの研究機関の知との融合や新たな分野への活用を図るとともに、地域の経験により蓄積された技術を活かし、サービス向上や社会システムの改善に資するイノベーションの拠点となる。

抽出される要素（「強み（◆印）」 + 「脅威（■印）」）

- ◆ 大学の理系人材が多い
- ◆ 自動車、半導体の産業集積
- ◆ 水素、ロボット、バイオなど次世代産業の強み
- ◆ 福岡ベンチャーマーケットの実績
- ◆ 物流インフラが整っている
- アジアの大都市間競争（埋没の恐れ）
- 世界的な人材獲得競争

##### ○ 知の集積を活かす

数多くの大学院を有する大学や研究機関や、アジアを中心とする多くの留学生の存在、世界の中でも暮らしやすい地域である優位性を生かして、アジアをはじめとする世界から多くの研究者が集まる、高度な学術研究が展開する知の拠点を目指す。

抽出される要素（「強み（◆印）」 + 「脅威（■印）」）

- ◆ 大学の数が多い
- ◆ 留学生が多い（福岡県は全国3位）
- ◆ シンクタンク・大学院等が多い
- アジアの大都市間競争（埋没の恐れ）
- 日本の少子高齢化

### <改善による差別化>

#### ○ チャレンジする人材が活躍できる

地の利の良さや産業技術の集積を活かし、アジアからの優秀な人材を引き付け、アジアの企業が投資や進出をしたくなる環境づくりを進める。また、留学生をはじめとした外国人が学業・就職・起業などにチャレンジできる環境づくりを進め、能力を発揮できる人材の拠点となる。

抽出される要素（「弱み（◇印）」 + 「機会（□印）」）

- ◇ 福岡市、北九州市の二大都市の連携が少ない
- ◇ 支店経済で頭脳機能が弱い
- ◇ 留学生の地元就職が少ない
- ◇ 海外からの投資が限定的
- アジア諸国の留学意欲の向上
- 国の留学生30万人計画

### <逆転的発想>

#### ○ 「海」を活かす

この地域は、アジアと海を介して接していると同時に、福岡市・北九州市は、共に海に面し、長い海岸線でつながっている。しかしながら、港湾の連携をはじめとして十分な連携が図られているとは言いがたい。

アジアとの交流、さらに二大都市の連携の象徴として、海を再認識し、海の多様な活用を図っていく。

抽出される要素（「弱み（◇印）」 + 「脅威（■印）」）

- ◇ 福岡市、北九州市の二大都市の連携が少ない
- ◇ 知名度の高い観光資源が少ない
- ◇ 博多と北九州の2つの港湾がうまく連携できていない
- アジアの大都市間競争
- 環境汚染（海洋漂着ゴミ）